第 2 章

文字の入力

文字の入力・文字の修飾

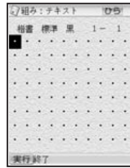
文字を入れるには

文字の入れかたの要点を簡単に紹介します。詳しい操作を知りたいときは、参照ページをご覧ください。

文字を入れる画面は…

例 宛名作成画面(▶▶75ページ)　文章編集画面(▶▶128ページ)





重要語句を覚えましょう

本機には文字を入れるときのいろいろなルールがあります。ルールを説明したそれぞれの語句を覚えることが、文字を入れる早道です。がんばって覚えましょう！

語句	意味	参照ページ
かな入力	文字キーに書かれているひらがなどおりに文字を入れる方法。	43
ローマ字入力	文字キーに書かれているアルファベットを使ってローマ字読みで文字を入れる方法。	43
カーソル	文字が入る位置を示したマーク。	34
入力	文字キーを押して文字を入れること。	43
変換	ひらがなで入力した文字を「漢字」に変えること。	45～48
変換中	ほかの候補に変えることができる状態。	47
無変換	漢字に変えないで、ひらがなを入れること。	43
候補	入力したひらがなに当てはまる漢字の種類。	47
確定	漢字を選び、ほかの候補に変わらないように決定すること。	47
熟語変換	かな漢字まじりの文章に変換すること。	45
単漢字変換	漢字を1文字ずつ変換すること。	48
テンキー	数字を直接入れることができるキー。	32
外字	自分で作った文字。本機にない文字を使いたいときは、自分で文字を作ることができます。	62

文字キーの使いかた(▶▶43ページ)

1つのキーには2つの文字が書かれています。
[あア A]を押して、どの文字を入れるのかを選びます。



文字を入れる(▶▶43ページ～59ページ)


画面右上の表示によって、入力できる文字の種類が変わります。

ひらがな入力

「きく」を入れます

▼

[あアA]を何回か押して、画面右上に「ひら」を表示させる

▼

[き][く][実行]

▼



カタカナ入力

「キク」を入れます

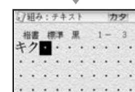
▼

[あアA]を何回か押して、画面右上に「カタ」を表示させる

▼

[き][く]

▼



漢字入力

「菊」を入れます

▼

[あアA]を何回か押して、画面右上に「ひら」を表示させる

▼

[き][く][変換][実行]

▼



アルファベット入力

「Sun」を入れます

▼

[あアA]を何回か押して、画面右上に「英字」を表示させる

▼

[ちS][シフト小文字][ゆU][シフト小文字][わN]

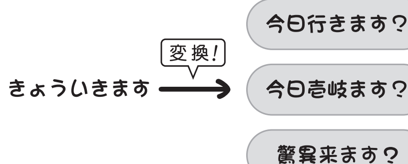
▼



●数字を入れるときは、テンキー(数字キー)を押します。数字は、どの状態でも入れることができます。

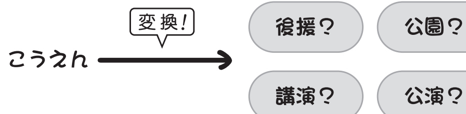
漢字に変換する

ひととおりの文章を入れる



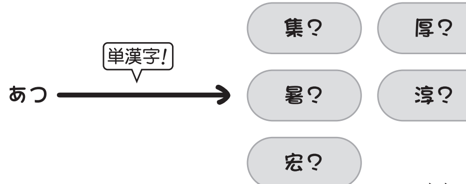
▶▶ 45ページ

同音異義語の文字のとき　(候補がいくつもある「よみ」の変換)



▶▶ 46ページ

単漢字変換　([変換]を押しても、希望の漢字にならないとき)

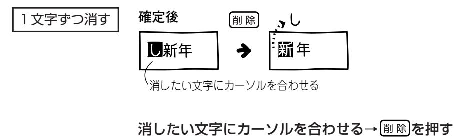


▶▶ 48ページ

文字を間違えたときは

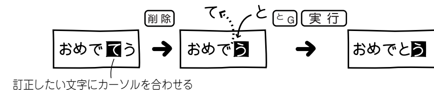
間違えた文字を消す　(▶▶60ページ)

1文字ずつ消す　確定後　[削除]



消したい文字にカーソルを合わせる→[削除]を押す

間違えた文字を直す　(▶▶60ページ)



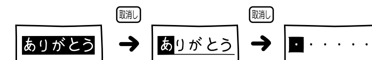
訂正したい文字にカーソルを合わせる→[削除]を押す→正しい文字を入れて[実行]を押す

文字が抜けていたら　(▶▶61ページ)



抜けている文字の、後ろの文字にカーソルを合わせる→抜けていた文字を入れて[実行]を押す

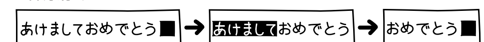
変換中の文字を取り消す　(▶▶47ページ)



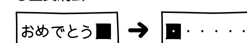
文字を変換している途中に、[取消し]を2回押す

文字をまとめて消す　(▶▶70ページ)

●部分消去



●全文消去



文字を修飾するには

本機は、書体(フォント)や文字の形を指定したり、大きさや色を変えることができます。詳しい操作を知りたいときは、参照先のページをご覧ください。

文字の形を決める
(▶▶69ページ)

標準
白抜き
影付
立体
太文字

書体(フォント)を決める
(▶▶66ページ)

ゴシック
丸ゴシック
明朝
楷書

文字の色を変える
(▶▶68ページ)

◎次のページから、文字の入れかたを詳しく説明していきます。

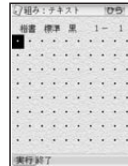
ひらがな・カタカナを入れる

ひらがな・カタカナの入れかたを説明します。
※[長音](ー)と[－](ハイフン)を間違えないように、注意してください。

ひらがなを入れる

例 さくら

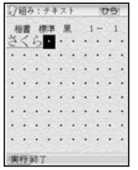
1 [あア/A]を何回か押して、画面右上に「ひら」を表示させます。



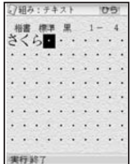
■をカーソルといいます。文字が入る位置を示します。

2 [さQ][く¬][らH]と押します。

ローマ字入力のときは、[ちS][たA][さK][ゆU][せR][たA]と押します。
「文字の入力方法(入力モード)を切り替える」▶▶164ページ



3 [実 行]を押します。



キーを押し間違えてしまったら…

- 文字を間違えていたら…60ページ「間違えた文字を直す」
- 文字が抜けていたら…61ページ「文字の抜けているところに文字を追加する」
- 文字を消したいときは…60ページ「間違えた文字を消す」
- はじめからやり直したいときは…70ページ「文字をまとめて消す」

画面に同じ文字がいくつも表示されたときは

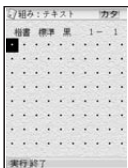
キーを長く押し続けていると、その文字が連続して表示されます。そのときは[取消し]を押します。文字が画面から消えます。
キーは、ポンッと軽くたたくように、押してください。

重要 [取消し]を押して 消すことができるのは、カーソルが文字に重なっているときだけです。
数字キーを押し続けたときや、文字を確定したあとは、消したい部分にカーソルを合わせて[削 除]を押します。

カタカナを入れる

例 サクラ

1 [あア/A]を何回か押して、画面右上に「カタ」を表示させます。



2 [さQ][く¬][らH]と押します。

ローマ字入力のときは、[ちS][たA][さK][ゆU][せR][たA]と押します。
カタカナはキーを押したと同時にその文字に確定されます。



「ぱ」や「ゃ」などを入れる

キーの上に印刷されていない文字を入力するときは、このページの表を見て入力してください。
ローマ字入力のときの文字の入れかたは、186ページの「ローマ字入力対応表」をご参照ください。

文字の例	呼び名	かな入力のとき	ローマ字入力のとき
は	清音	[はカ]	[らH][たA]
ば	濁音	[はカ][゛O]	[のB][たA]
ぱ	半濁音	[はカ][゜P]	[゜P][たA]
ゃ	拗音	[シフト小文字][やY]	[にX][やY][たA]
っ	促音	[シフト小文字][つD]	[にX][そT][ゆU]
。	句点	[シフト小文字][ほ■]	[ほ■]
、	読点	[シフト小文字][へ■]	[へ■]

「ゐ」や「ゑ」など旧仮名遣いの文字はお助け文字や記号の中に入っています。「記号一覧」(▶▶184ページ)
「お助け文字一覧」(▶▶202ページ)
小文字や「々」「ヾ」などは「お助け文字機能」でも入れることができます。(▶▶54ページ)

漢字に変換する

漢字を入れるには、まずその漢字の「読み」をひらがなで入れます。例えば、「花」は「はな」と入れます。ひらがなから漢字に変えることを「変換」といいます。使いたい漢字が表示されたら、[実 行]を押して、ほかの漢字に変わらないように確定します。
かなを入れて[変換]を押しても目的の漢字に変換できないときは、単漢字変換を試してみましょう。
ひらがなから漢字に変換する方法は、次の2種類あります。

●熟語を一度に変換する(熟語変換)
・文章を入れてから変換
・同音異義語を変換(例:公園、講演など)
「同じ読みのある漢字(同音異義語)を選ぶ」(▶▶46ページ)

●漢字1文字分ずつ変換する(単漢字変換)
当て字やむずかしい固有名詞などの変換
「1文字ずつ漢字に変換する(単漢字変換)」(▶▶48ページ)

ひととおり文章を入れたあとで漢字にする

例 今日行きます

1 「きょういきます」とひらがなで入れます。



2 [変換]を押します。

↓

「きょうい」と「きます」という2つの言葉と認識したため、「驚異」と変換されます。

「驚異」が反転します。
※1つ目の文節が目的の漢字に正しく変換されているときは、[>]を押して正しく変換されていない文節に反転を移動してください。最後の文節まで目的の漢字に正しく変換されているときは、[>]を押して最後の文節に反転を移動して[実 行]を押してください。漢字が確定します。

3 [シフト小文字][<]と押します。

「きょうい」を「きょう」という言葉に区切るためです。
「きょう」が「今日」に変換されました。



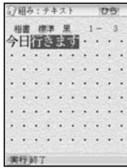
4 [実 行]を押します。

「今日」が確定されます。
「いきます」という言葉が残ったと認識したため、「生きます」に変換されました。



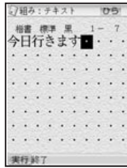
5 を何回か押して、「行きます」にします。

を押すたびに、「いきます」の候補が次々に表示されます。



6 「行きます」になったら、実行 を押します。

「行きます」が確定されます。

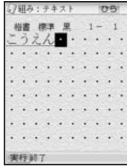


同じ読みのある漢字（同音異義語）を選ぶ

複数の漢字が当てはまる「読み」（同音異義語）を選ぶ方法を説明します。

例 公園

1 「こうえん」とひらがなで入れます。



2 を押します。

「こうえん」に合った漢字の候補が表示されます。

3 を何回か押して、「公園」にします。

を押すたびに、「こうえん」に合った漢字が次々と表示されます。



4 「公園」になったら、実行 を押します。

「公園」が確定されます。

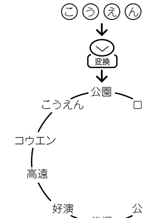
学習機能について

「こうえん」という読みを「公園」で確定したとします。次回「こうえん」という読みで変換すると、「公園」が一番はじめに表示されます。これは、前回使った漢字を本機が覚えているためです。
このように、前回使った漢字を最初に表示することを学習機能といいます。

ひらがなを漢字にするルール

「よみ」を入れる　　漢字に変える　　確定する

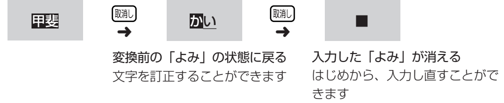




さらに を押すと、「こうえん」に当てはまるほかの候補が表示されます。 を押すと、前に表示されていた候補の文字が表示されます。

変換中に文字を間違えたら…

変換中に文字の間違いに気がついたら、取消し を押してください。



変換前の「よみ」の状態に戻る
文字を訂正することができます

入力した「よみ」が消える
はじめから、入力し直すことができます

思いどおりの漢字に変換されないのはなぜ？

次のようなことが考えられます。
- 「週（しゅう）」を「しゆう」と入力している
- 「図（ず）」を「づ」と入力している

かなで入れた文章を漢字に変換するときのポイント

例 栄町

①「さかえちょう」とひらがなで入れます。

さかえちょう■・

② を押します。

栄町・・・・・・

③最後の文節まで目的の漢字に正しく変換されたときは、 を押して最後の文節に反転を移動してください。
ここでは を1回押します。

栄町・・・・・・

④ 実行 を押して漢字を確定します。

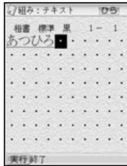
栄町■・・・・・

1文字ずつ漢字に変換する（単漢字変換）

むずかしい漢字や珍しい固有名詞などは、 を押しても正しく変換されません。このような場合、1文字ずつ目的の漢字に変換します。

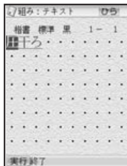
例 敦廣（あつひろ）

1 「あつひろ」をひらがなで入れます。



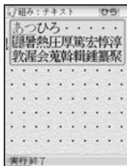
2 を何回か押します。

何回押しても、「敦」に変換されません。



3 単漢字 を押します。

「あつ」に合った漢字がいくつか表示されます。



4 を何回か押して、目的の漢字を選び、実行 を押します。

「敦」が確定されます。



5 手順 3 から 4 と同様の操作をして目的の漢字（廣）を選び、実行 を押します。

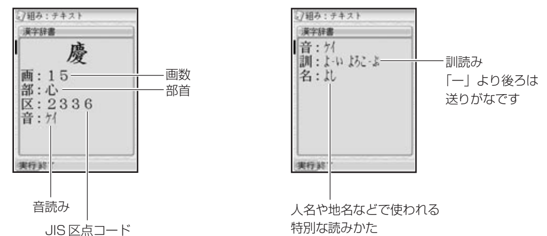


漢字辞書を使って文字を入れる（漢字辞書機能）

漢字の読みや、画数などから漢字を呼び出すことができます。
漢字の呼び出しかたは、4種類あります。
- 「読み」　　読みから該当する漢字を呼び出します。
- 「総画数」　総画数から該当する漢字を呼び出します。
- 「部首」　　部首から該当する漢字を呼び出します。
- 「区点コード」　JIS区点コードから該当する漢字を呼び出します。

漢字辞書機能は文字が入力できる画面および文面、宛名（「読み」および「郵便番号」入力時を除く）の各メニュー画面から入ることができます。ただし、文字が未確定のときや、漢字に変換している途中では漢字辞書は使えません。

● 漢字辞書詳細表示について



を押して、表示を切り替えることができます。

JIS 区点コードとは

ワープロやパソコンなどのコンピューター機器は、漢字を番号で管理しています。番号は「区」と「点」に分かれていて、漢字1つに対して4つの数字が割り当てられています。コード番号はJIS規格で定められています。189ページからの内蔵漢字一覧をご参照ください。

読みから呼び出す

例「挙」という漢字を呼び出す

1 入力したい位置にカーソルを合わせて、[漢字辞書]を押します。

何で探しますか？
読み
総画数
部首
区点コード

2 [∧][∨]で「読み」を選び、[実行]を押します。

読みを入力

3 「あげる」と入れて、[実行]を押します。

「あげる」と読む漢字の一覧が表示されます。データに続きがあるときは[∧][∨]を押すと続きを見ることができます。

- 漢字の「読み」の入力ではお助け文字機能は使用できません。
- 最大7文字まで入力できます。

［あげる］

4 [∧][∨][<][>]を押して挙にし、[実行]を押します。

「挙」という漢字について表示されます。

5 [実行]を押します。

「挙」という漢字が入ります。

総画数から呼び出す

例「挙」という漢字を呼び出す

1 入力したい位置にカーソルを合わせて、[漢字辞書]を押します。

何で探しますか？
読み
総画数
部首
区点コード

2 [∧][∨]で「総画数」を選び、[実行]を押します。

総画数を入力
画数：01

3 [1][0]と入れて、[実行]を押します。

[<]または[>]で画数を指定することもできます。

10画の漢字の一覧が表示されます。

［総画数：10］

4 [∧][∨][<][>]を押して挙にし、[実行]を押します。

「挙」という漢字について表示されます。

5 [実行]を押します。

「挙」という漢字が入ります。

部首から呼び出す

例「挙」という漢字を呼び出す

1 入力したい位置にカーソルを合わせて、[漢字辞書]を押します。

何で探しますか？
読み
総画数
部首
区点コード

2 [∧][∨]で「部首」を選び、[実行]を押します。

部首画数を入力
画数：01

3 「挙」の部首の「手」は4画なので[0][4]と押し、[実行]を押します。

4画の部首の一覧が表示されます。

[<]または[>]で部首の画数を指定することもできます。

データに続きがあるときは[∧][∨]を押すと続きを見ることができます。

部首を選択
<04画の部首>

4 [∧][∨][<][>]を押して手にし、[実行]を押します。

「手」が部首の漢字の一覧が表示されます。

［部首：手］

5 [∧][∨][<][>]を押して挙にし、[実行]を押します。

「挙」という漢字について表示されます。

6 [実行]を押します。

「挙」という漢字が入ります。

部首がわかりにくい漢字については本来の部首以外でも呼び出せるものがあります。
（例：「岩」は「山」でも「石」でも呼び出せます。）

JIS区点コードから呼び出す

例「挙」という漢字を呼び出す

1 入力したい位置にカーソルを合わせて、[漢字辞書]を押します。

何で探しますか？
読み
総画数
部首
区点コード

2 [∧][∨]で「区点コード」を選び、[実行]を押します。

区点コードを入力
1601

3 「挙」の区点コードは「２１８３」なので[2][1][8][3]と押し、[実行]を押します。

「挙」という漢字について表示されます。

「内蔵漢字一覧」
▶▶189ページ

5 [実行]を押します。

「挙」という漢字が入ります。

- 読みでの検索は「音読み」、「訓読み」、「人名や地名などで使われる特別な読みかた」のいずれでも検索できます。
- フォントのデザインにより同じ漢字でも字の形が異なることがあります。
- 部首は代表的なものを採用しています。学説によっては別の部首とするものもあります。
- JIS外の漢字の区点コードは「ーーーー」と表示されます。
- JIS規格には収録されていても、多くの辞書で読みも意味も不明として取り扱われている漢字は「音義未詳」と表示されます。
- 漢字辞書機能で呼び出した場合は、漢字の学習機能（46ページ）ははたらきません。
- 文字が入力されたときは、そのときのカーソル位置のサイズや色などに合わせて入力されます。
- 単位の名称を漢字で表すもの（米：メートル、弗：ドルなど）は訓読みに含め、ひらがなで表示しています。

「ゑ」や「ヮ」など入力しにくい文字を簡単に入れる（お助け文字キー）

お助け文字機能を使うと、「ゑ」や「ヮ」などの入力しにくい文字や、JIS外の漢字を簡単に入力できます。

「お助け文字一覧」▶▶202ページ

例 **「ゑ」**

1 [? お助け文字]を押します。

2 [∧][∨]で「入れにくい文字」を選び、[実行]を押します。

JIS以外の漢字を入力するときは、「JIS外の漢字」を選びます。入れにくい文字の一覧が表示されます。

3 [∧][∨][<][>]で「ゑ」を選び、[実行]を押します。

「ゑ」が入ります。

アルファベットを入れる

画面右上が「英字」となっているときは、アルファベットを入れることができます。かな入力、ローマ字入力どちらでも操作は同じです。

数字はテンキー（数字キー）を押して入れます。ひらがなが入る状態、アルファベットが入る状態、どちらでも入力することができます。

アルファベットの大文字を入れる

例 AKI

1 [あアA]を何回か押して、画面右上に「英字」を表示させます。

2 [た A][る K][よ I]と押します。

アルファベットはキーを押したと同時にその文字に確定されます。

アルファベットの小文字を入れる

例 aki

1 [あアA]を何回か押して、画面右上に「英字」を表示させます。

2 [シフト 小文字]を押し、[シフト 小文字]から指を離します。

3 [た A]を押します。

小文字が入ります。

4 [シフト 小文字][る K][シフト 小文字][よ I]と押します。

アルファベットはキーを押したと同時にその文字に確定されます。

，（カンマ）．（ピリオド）を入れるには

画面右上が「英字」となっているときに、次のキーを押します。

カンマ：[^ ■ 、]　　ピリオド：[ん .]

数字を入れる

例 123-4567

1 [1][2][3][-][4][5][6][7]と押します。

記号を入れる

普通の文字のほかに、いろいろな記号を入れることができます。

キーに印刷されている記号を入れる

普通の文字のほかに、キーに印刷されているいろいろな記号を入れることができます。記号を入れるときは、アルファベットが入る状態にしてから入れます。

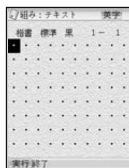


キーに印刷されている記号

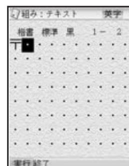
例 〒

1 あア/Aを何回か押して、画面右上に「英字」を表示させます。

ローマ字入力になっているときは、この操作は行う必要はありません。



2 うを押します。



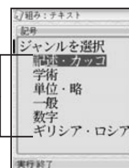
キーに印刷されていない記号を入れる

普通の文字やキーに印刷されている記号以外の記号を入れることができます。
記号は、6つのグループに分かれています。184ページの「記号一覧」を見ながら、使いたい記号がどのグループに入っているかを確かめてください。



例 ★(グループ：一般)

1 記号を押します。



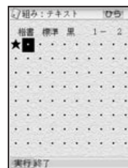
記号のグループ名

2 ︿﹀で「一般」を選び、実行を押します。



3 ︿﹀＜＞を何回か押して「★」を探します。

4 実行を押します。



文字を間違えたときは

文字を間違えて入れたときの直しかたを説明します。

間違えた文字を直す

文字を直すときは、間違った文字を消してから、そのまま正しい文字を入れます。

例 「ゆきこ」を「ゆうこ」に直す

1 ＜＞を何回か押して、直す文字にカーソルを合わせます。

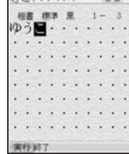


2 削除を押します。

「き」が削除され、「こ」がつまります。

3 正しい文字を入れ、実行を押します。

「う」が「こ」の前に入ります。
すでに入っている文字を消さずに、新しい文字が追加されます。



間違えた文字を消す

文字を1文字ずつ消すときの方法を説明します。

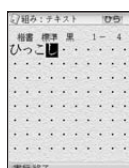
例 「ひっここし」の「こ」を消して「ひっこし」に直す

1 ＜＞を何回か押して、消したい文字にカーソルを合わせます。



2 削除を押します。

「ひっこし」になります。続けて文字を入れるときは、文章の終わりまでカーソルを移動させます。



※最後に入れた文字を消すときは後退を押します。

文字の抜けているところに文字を追加する

例 「あた」を「あきた」にする

1 ＜＞を押して、追加するところにカーソルを合わせます。



2 文字を入力して、実行を押します。

すでに入っている文字を消さずに、新しい文字が追加されます。



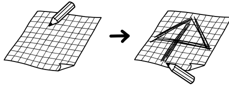
「文字をまとめて消す」こともできます。(▶▶70ページ)

自分で文字を作る(外字)

↗ や1などのように、本機にない文字や記号を自分で作ることができます。自分で作った文字を外字といいます。
外字は6つまで本機の中に登録(記憶)しておくことができます。

● 外字はこうやって作ります

本機の文字・記号などはすべて点(ドット)の集まりです。点を1つ1つ塗りつぶしたり、消したりすることにより、自由自在に文字を作ります。



外字を作る方法として次の2つがあります。どんな外字を作るのかによって方法を選びましょう。

●はじめから自分で作る(**新規作成**)
…はじめから新しい文字を作るとき。

●本機の中にある文字を利用して作る(**参照作成**)
…「⟷」や「⊘」のように、既存の文字が利用できるときは、この方法が便利です。

はじめから自分で作る(新規作成)

例 1

1 文字にカーソルが合っていない状態で、[シフト/小文字][記号(外字)]と押します。

機能を選択
呼出
作成
修正
削除

2 ︿﹀で「作成」を選び、[実行]を押します。

カーソル…
■のことです。
スケール…
現在カーソルがどこにあるのかを示します。カーソルの動きに合わせて動きます。

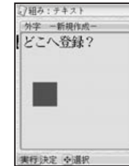
文字を作成
1：黒　2：白
3：連続入力

外字作成画面

3 外字作成画面で外字を作成します。

カーソルを移動させるときは	︿﹀<>を押してカーソルを移動します。
点を1つ塗りつぶすときは	カーソルを目的の位置まで移動し、[1](黒)を押します。
点を1つ消すときは	塗りつぶした点までカーソルを移動し、[2](白)を押します。
線を描くときは	[1](黒)→[3](連続入力)と押してから、カーソルを移動します。カーソルの移動に合わせて、線が描かれます。
線を消すときは	[2](白)→[3](連続入力)と押してから、カーソルを移動します。カーソルの移動に合わせて、線が消されます。

4 外字が完成したら、[実行]を押します。



5 ︿﹀<>を押して、作った外字を登録する場所を選びます。

重要 すでに外字が登録されている場所を選ぶと、その外字が表示されます。この状態で[実行]を押すと、すでに作成されていた文字が消去され、新しい外字に変わります。

6 [実行]を押します。

7 メッセージを確認し、[実行]を押します。

- 外字作成画面で[1](黒)または[2](白)のどちらかが指定されているときは、[3](連続入力)を押すたびに連続入力を「する/しない」が切り替えられます。
- 斜め方向に連続してドットを塗りつぶしたり消したりすることはできません。斜め方向に塗りつぶしたり消したりするときは、1ドットずつ行ってください。

本機にある文字を利用して作る(参照作成)

例 本機の文字「1」を利用して、1を作る

1 文字を入力できる画面で、[1]を押します。

2 <>を押して、「1」にカーソルを合わせます。

3 [シフト/小文字][記号(外字)]と押します。

4 ︿﹀で「作成」を選び、[実行]を押します。

5 ︿﹀で「参照作成」を選び、[実行]を押します。

どの書体で参照？
ゴシック
丸ゴシック
明朝
楷書

6 ︿﹀で書体を選び、[実行]を押します。

文字を作成
1：黒　2：白
3：連続入力

7 63ページの手順3からの操作を行い、外字を作成し登録します。

自分で作った文字を使う

1 文字が入力できる画面で外字を入れたい位置にカーソルを合わせます。

2 [シフト/小文字][記号(外字)]と押します。

3 ︿﹀で「呼出」を選び、[実行]を押します。

呼び出す外字を選択

4 ︿﹀<>で、呼び出す外字を選び、[実行]を押します。

呼び出した外字を削除するときは、通常の文字と同じ方法で消します。

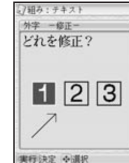
「間違えた文字を消す」
▶▶ 60ページ

自分で作った文字を修正する

例 ↗ → ⬀

1 文字が入力できる画面で[シフト/小文字][記号(外字)]と押します。

2 ︿﹀で「修正」を選び、[実行]を押します。



3 ︿﹀<>で、修正する外字を選び、[実行]を押します。

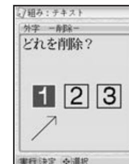
4 63ページの手順3からの操作を行い、外字を修正し、登録します。

自分で作った文字を削除する

外字を文章の中に入れていたときに、その登録した外字を削除すると、文章の中の外字は空白で印刷されます。

1 文字が入力できる画面で[シフト/小文字][記号(外字)]と押します。

2 ︿﹀で「削除」を選び、[実行]を押します。



3 ︿﹀<>で、削除する外字を選び、[実行]を押します。

4 [実行]を押します。

文字を修飾する

本機は、文面の「見出し」と「テキスト」(▶▶128ページ)で書体(フォント)や文字の形を指定したり、色を変えることができます。

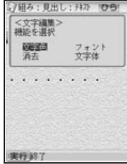
文字の書体を変える(フォント)

文字を入力できる画面になっていることを確認してください。

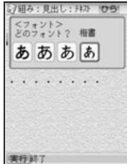
あ　あ　あ　あ

ゴシック　丸ゴシック　明朝　毛筆楷書

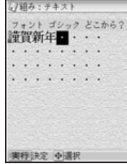
1 文字を入れてから、[文字編集]を押します。



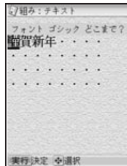
2 ⌃⌄＜＞で「フォント」を選び、[実 行]を押します。



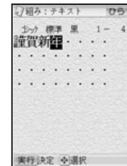
3 ＜＞で書体を選び、[実 行]を押します。



4 ＜＞で書体を変えたい最初の文字を選び、[実 行]を押します。



5 ＜＞で書体を変えたい最後の文字を選び、[実 行]を押します。



- 書体を指定した文字のすぐ前に文字を追加すると、追加した文字もその書体になります。

例　あいうえお　→　あいうえかきくけこお
丸ゴシック体を指定　追加した文字も丸ゴシック体となる

- 文字が何もない部分に書体を指定すると、そのあとに入れる文字すべてがその書体になります。

例　あ　い　・　→　あいうえおかきくけこ
毛筆　この部分に丸ゴシック体を指定　丸ゴシック体になる

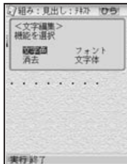
※「外字」(62ページ)で作成した文字に、書体を指定することはできません。

文字の色を変える(文字色)

文面の「見出し」と「テキスト」で文字を入力できる画面になっていることを確認してください。

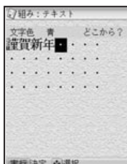
●指定できる色
黒　赤　緑　青　桃色　空色　灰色

1 文字を入れてから、[文字編集]を押します。

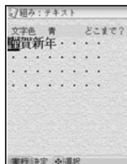


2 ⌃⌄＜＞で「文字色」を選び、[実 行]を押します。
色の種類が表示されます。

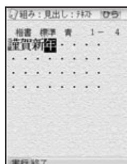
3 ＜＞で色を選び、[実 行]を押します。



4 ＜＞で色を変えたい最初の文字を選び、[実 行]を押します。



5 ＜＞で色を変えたい最後の文字を選び、[実 行]を押します。



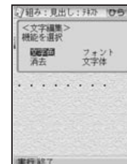
文字の形を変える(文字体)

文面の「見出し」と「テキスト」で文字を入力できる画面になっていることを確認してください。

あ　あ　あ　あ　あ

標準　白抜き　影付　立体　太文字

1 文字を入れてから、[文字編集]を押します。



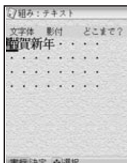
2 ⌃⌄＜＞で「文字体」を選び、[実 行]を押します。
文字体の種類が表示されます。



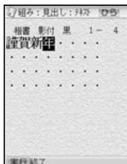
3 ＜＞で文字の形を選び、[実 行]を押します。



4 ＜＞で文字の形を変えたい最初の文字を選び、[実 行]を押します。



5 ＜＞で文字の形を変えたい最後の文字を選び、[実 行]を押します。



- 文字体を指定した文字を標準の文字に戻すときは、手順3で「標準」を選びます。
- 「テキスト」に文字体を指定すると、文字によってはきれいに印刷されないことがあります。はがきなどに印刷する前に、必ず試し印刷を行って、仕上がりを確認してください。

※「外字」(62ページ)で作成した文字に、文字体を指定することはできません。

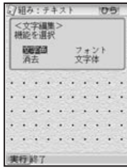
文字をまとめて消す

文字を範囲を決めて消したり(部分消去)、入れた文字を全部消す(全文消去)ことができます。

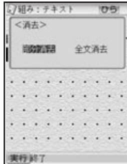
範囲を決めて消す(部分消去)

文字が入力してある画面になっていることを確認してください。

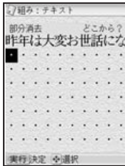
1 文字編集を押します。



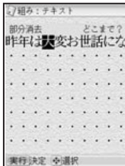
2 ⌃⌄<>で「消去」を選び、実行を押します。



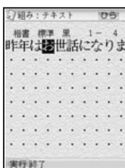
3 <>で「部分消去」を選び、実行を押します。



4 <>で消したい最初の文字を選び、実行を押します。



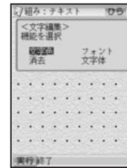
5 <>で消したい最後の文字を選び、実行を押します。



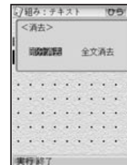
入れた文字を全部消す(全文消去)

文字が入力してある画面になっていることを確認してください。

1 文字編集を押します。



2 ⌃⌄<>で「消去」を選び、実行を押します。



3 <>で「全文消去」を選び、実行を押します。

4 <>で「はい」を選び、実行を押します。

操作を中止するときは、「いいえ」を選び、実行を押します。

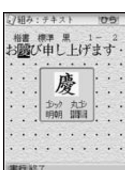
文字を大きくして確認する(はっきりズーム)

文字入力画面で、入力している文字を大きく表示します。画数の多い漢字の細かい部分なども確認することができます。漢字辞書や単漢字変換の漢字候補中に使うと便利です。

1 ⌃⌄<>で確認したい文字にカーソルを合わせます。

2 🔍を押します。

手順1で選んだ文字が拡大されます。



このとき⌃⌄<>を押すと、表示フォントを変えて確認することができます。
表示フォントは「ゴシック」「丸ゴシ」「明朝」「楷書」の4種類です。

元の画面に戻るには、実行、🔍、または取消しを押します。

重要
- 次の文字は拡大表示できません。
  - 文字入力画面以外の文字
  - 確定されていない文字
  - 改行マーク
  - 漢字辞書機能の部首
- 拡大表示中にフォントを変えても、文字入力画面でのフォントは変わりません。